

# 令和元年度(2019)第1回出雲市障がい者施策推進協議会次第

日時：令和元年7月17日(水)  
14:00～16:00  
会場：市役所本庁舎3階 庁議室

## 1 開会

## 2 健康福祉部長あいさつ

## 3 会長あいさつ

## 4 報告事項

- |                                |     |         |
|--------------------------------|-----|---------|
| (1) 平成30年度障がい福祉サービス等状況報告       | 資料1 | 1頁～10頁  |
| (2) 平成30年度サービス調整会議状況報告         | 資料2 | 11頁～13頁 |
| (3) 平成30年度障がい者虐待防止センター状況報告     | 資料3 | 14頁～15頁 |
| (4) 平成30年度障がい者差別相談センター等状況報告    | 資料4 | 16頁     |
| (5) 平成30年度手話普及の取組状況報告          | 資料5 | 17頁     |
| (6) 平成30年度生活保護精神障がい者退院促進事業状況報告 | 資料6 | 18頁     |
| (7) 令和元年度指定特定相談支援事業者等指導予定      | 資料7 | 19頁～20頁 |
| (8) 令和元年度専門部会、就労支援ネットワーク会議事業計画 | 資料8 | 21頁～32頁 |

## 5 議事

- |                               |   |     |    |
|-------------------------------|---|-----|----|
| (1) 国の調査研究事業の実施について           | } | 資料9 | 別冊 |
| (2) 地域生活支援拠点整備に係る進捗状況について     |   |     |    |
| (3) 障がい者ニーズ把握等のアンケート内容の検討について |   |     |    |

## 6 その他

次回以降開催予定

- 第2回 令和元年(2019) 12月18日(水) 14時～16時
- 第3回 令和2年(2020) 3月11日(水) 14時～16時

## 7 閉会

## 出雲市障がい者施策推進協議会委員

平成29年(2017)4月1日～令和2年(2020)3月31日 (3年間)

50音順・敬称略

No.	氏名	職名等	備考
1	芦矢 京子	島根県重症心身障がい児(者)を守る会副会長・事務局長	
2	石飛 丈和	出雲市身障者福祉協会理事	
3	石橋 美恵子	島根県東部発達障害者支援センターウィッシュセンター長	
4	和泉 積	出雲市身障者福祉協会理事	
5	糸原 直彦	出雲商工会議所専務理事	
6	井上 明夫	ふあっと施設長	
7	大野 美和	出雲公共職業安定所統括職業指導官	平成31年4月～
8	尾添 純子	出雲市子ども未来部子ども政策課子ども家庭相談室長	
9	勝部 寿子	こころの森会員	
10	金川 克則	島根県立出雲養護学校校長	
11	児玉 浩二	出雲市教育委員会児童生徒支援課長	平成31年4月～
12	児玉 信広	島根県健康福祉部障がい福祉課長	令和元年7月～
13	佐貫 文紀	ふたば園長	平成30年4月～
14	塩飽 邦憲	島根大学名誉教授 島根大学医学部特任教授	会長
15	新宮 直行	出雲市社会福祉協議会事務局次長	
16	新藤 優子	高次脳機能障がいデイケアきらり施設長	副会長
17	須谷 生男	出雲医師会理事	
18	高木 加津枝	出雲障がい者就業・生活支援センターリーフ所長	
19	永岡 秀之	島根県立こころの医療センター地域生活支援室長	
20	柳樂 紀美子	出雲市民生委員児童委員協議会副会長	
21	錦織 正二	出雲成年後見センター会長	
22	原 広治	島根大学大学院教育学研究科教授	
23	藤川 祐介	いちごの会会長	
24	牧野 由美子	島根県出雲保健所長	
25	山本 順久	ハートピア出雲施設長	
26	渡部 幸義	出雲サンホーム副施設長	平成31年2月～

# 資料集

## 令和元年度(2019)第1回出雲市障がい者施策推進協議会

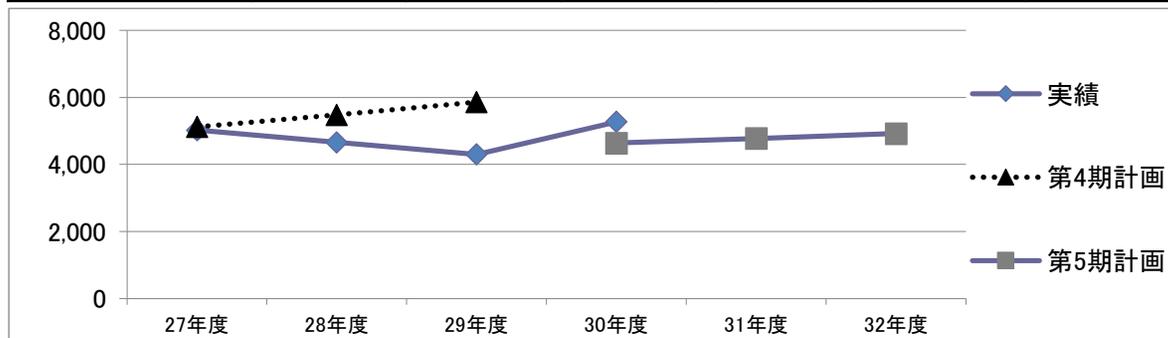
資料1	平成30年度障がい福祉サービス等状況報告	1頁～10頁
資料2	平成30年度サービス調整会議状況報告	11頁～13頁
資料3	平成30年度障がい者虐待防止センター状況報告	14頁～15頁
資料4	平成30年度障がい者差別相談センター等状況報告	16頁
資料5	平成30年度手話普及の取組状況報告	17頁
資料6	平成30年度生活保護精神障がい者退院促進事業状況報告	18頁
資料7	令和元年度指定特定相談支援事業者等指導予定	19頁～20頁
資料8	令和元年度専門部会、就労支援ネットワーク会議事業計画	21頁～32頁

## 障がい福祉サービス 計画数値・実績

【資料 1】

単位：時間/月

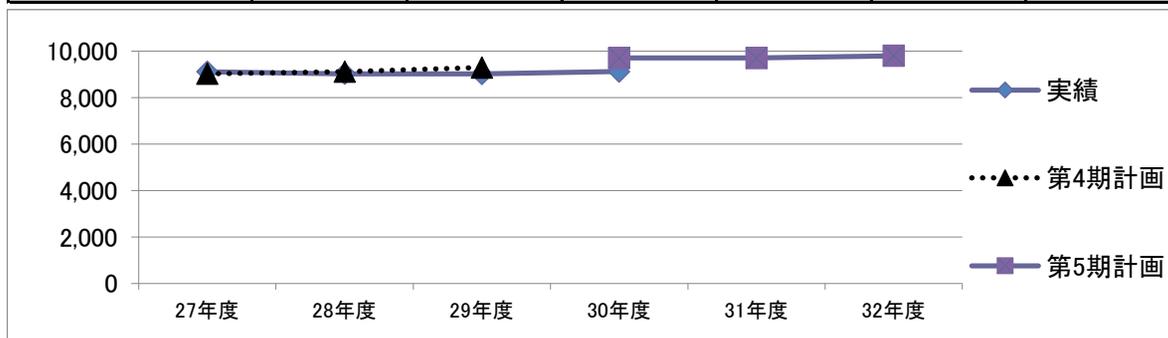
居宅介護等	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	5,119	5,477	5,860	4,638	4,777	4,921
実績	5,023	4,658	4,298	5,269		
対前年伸び率	107%	93%	92%	123%		
年間利用者数	339	357	347	352		



利用者及び介護者の高齢化により、居宅介護サービスが必要な方が増えています。

単位：人日/月

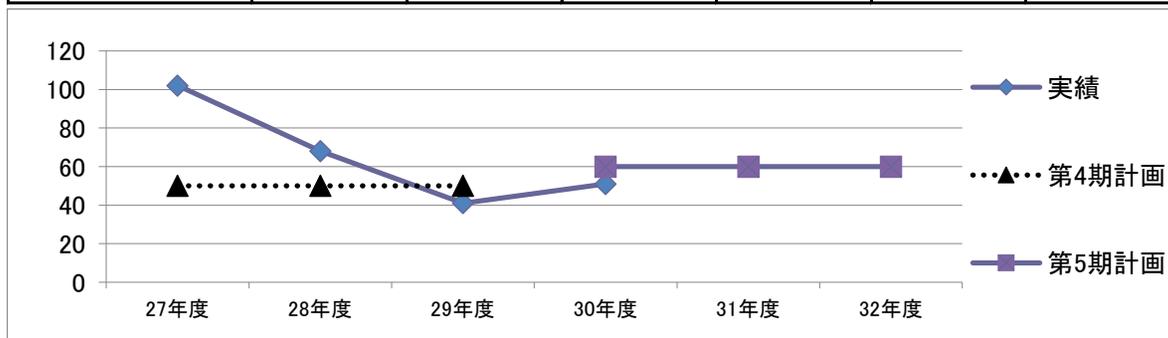
生活介護	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	9,023	9,113	9,295	9,702	9,702	9,799
実績	9,111	9,020	9,015	9,116		
対前年伸び率	104%	99%	100%	101%		
年間利用者数	531	515	522	522		



新規の施設入所が少ないことに伴い、計画を下回る実績です。

単位：人日/月

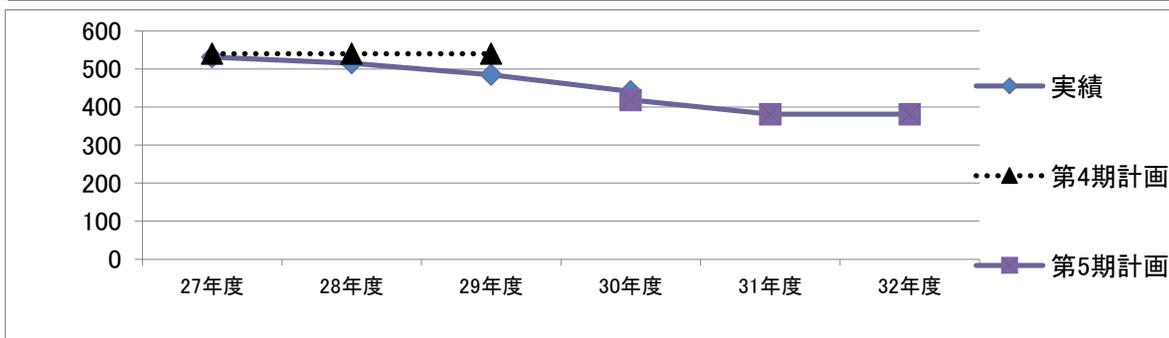
自立訓練（機能）	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	50	50	50	60	60	60
実績	102	68	41	51		
対前年伸び率	200%	66%	60%	124%		
年間利用者数	7	10	9	10		



新規利用者が少なく、利用期間に期限があることから、計画を下回る実績です。

単位：人日/月

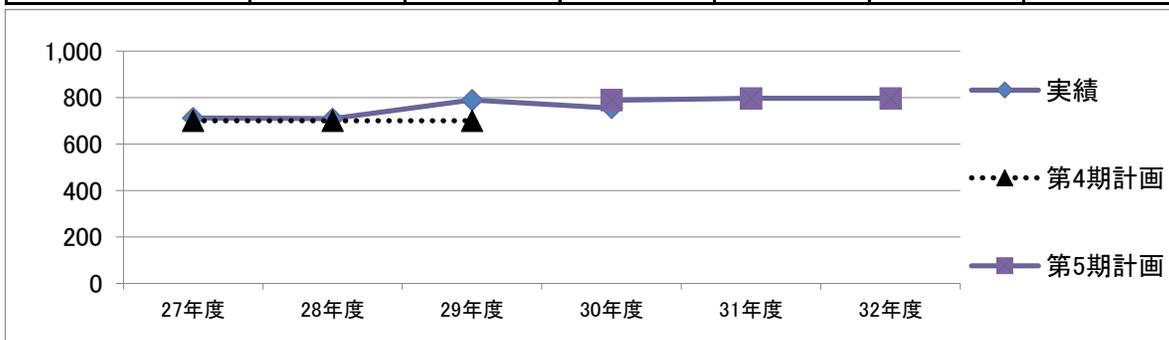
自立訓練（生活）	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	540	540	540	418	381	381
実績	531	515	485	441		
対前年伸び率	110%	97%	94%	91%		
年間利用者数	46	43	46	56		



ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人日/月

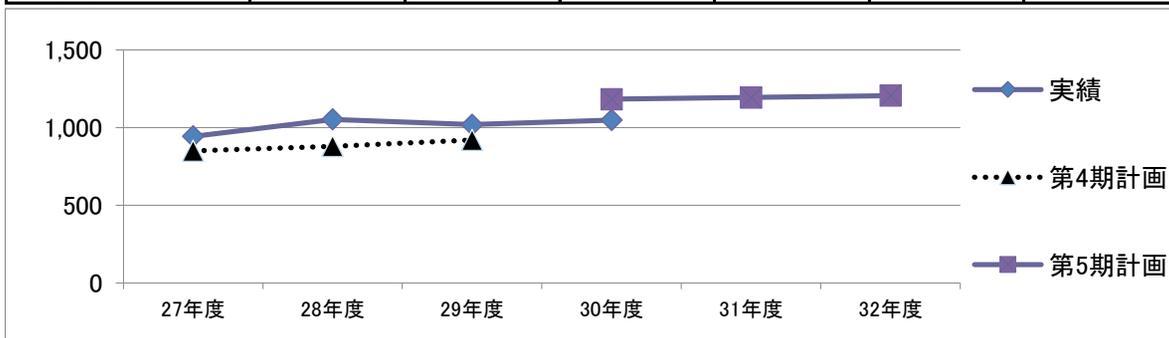
就労移行支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	700	700	700	788	796	796
実績	712	709	789	755		
対前年伸び率	104%	100%	111%	96%		
年間利用者数	80	87	93	86		



ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人日/月

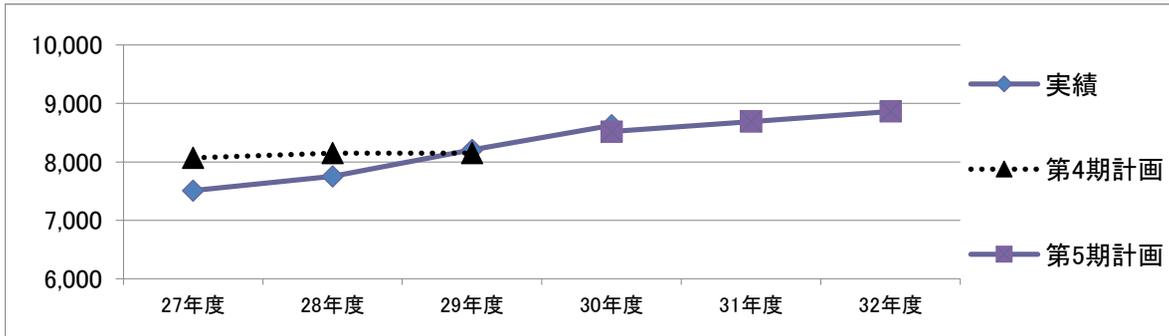
就労継続支援 A型	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	850	880	920	1,183	1,194	1,206
実績	944	1,053	1,019	1,049		
対前年伸び率	114%	112%	97%	103%		
年間利用者数	56	66	62	62		



新規の利用者が少なかったことから、計画を下回る実績です。

単位：人日/月

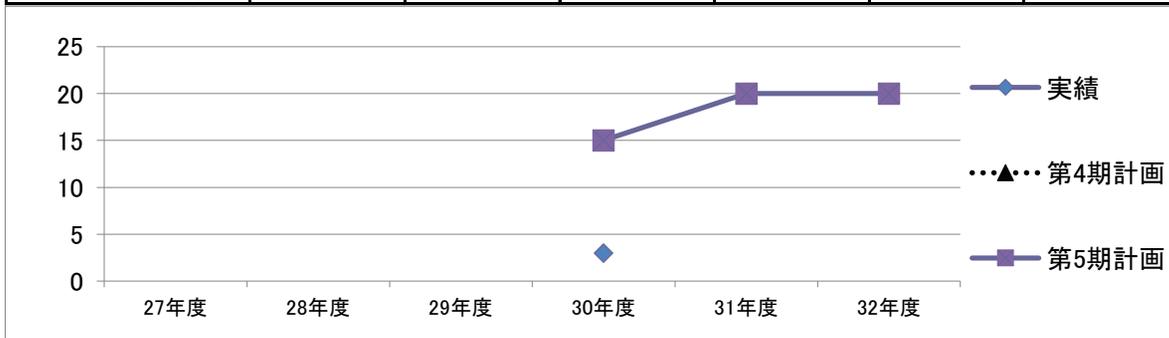
就労継続支援B型	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	8,070	8,150	8,150	8,519	8,690	8,863
実績	7,509	7,752	8,206	8,627		
対前年伸び率	101%	103%	106%	105%		
年間利用者数	533	548	579	612		



昨年度同様、利用者が増えており、ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人/月

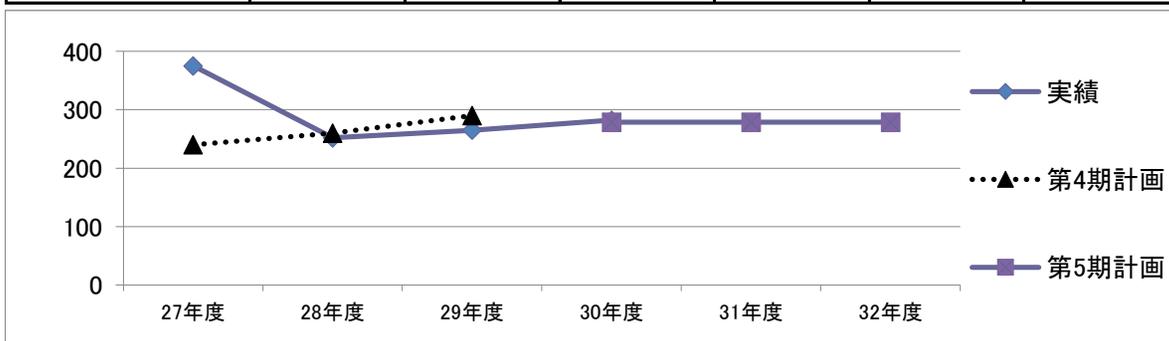
就労定着支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	-	-	-	15	20	20
実績	-	-	-	3		
対前年伸び率	-	-	-	-		
年間利用者数	-	-	-	8		



新規サービスで、市内5事業所がサービスを提供しています。今後、利用者増が見込まれます。

単位：人日/月

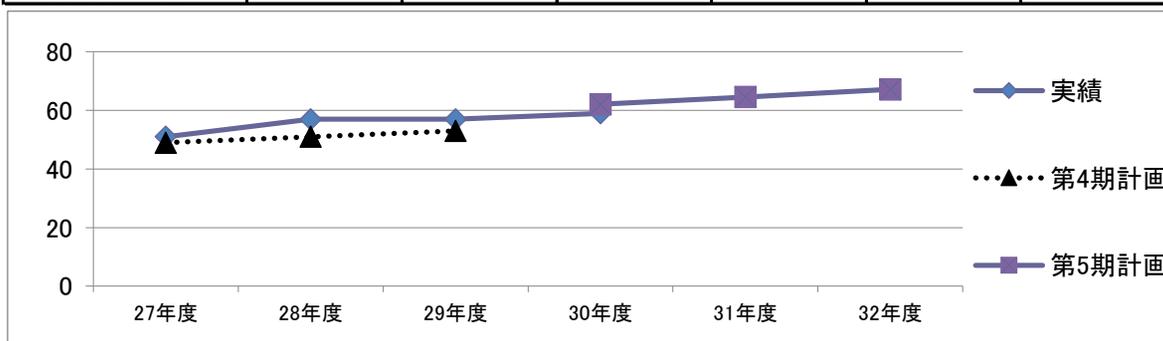
短期入所	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	240	260	290	279	279	279
実績	375	252	265	282		
対前年伸び率	102%	67%	105%	106%		
年間利用者数	133	123	125	135		



ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人/月

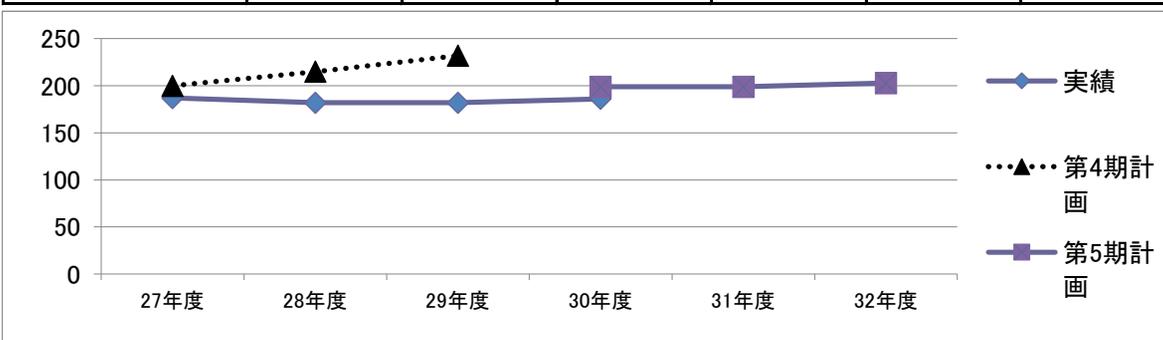
療養介護	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	49	51	53	62	65	67
実績	51	57	57	59		
対前年伸び率	106%	112%	100%	104%		
年間利用者数	56	58	57	59		



ほぼ、計画に沿った実績です。

単位：人/月

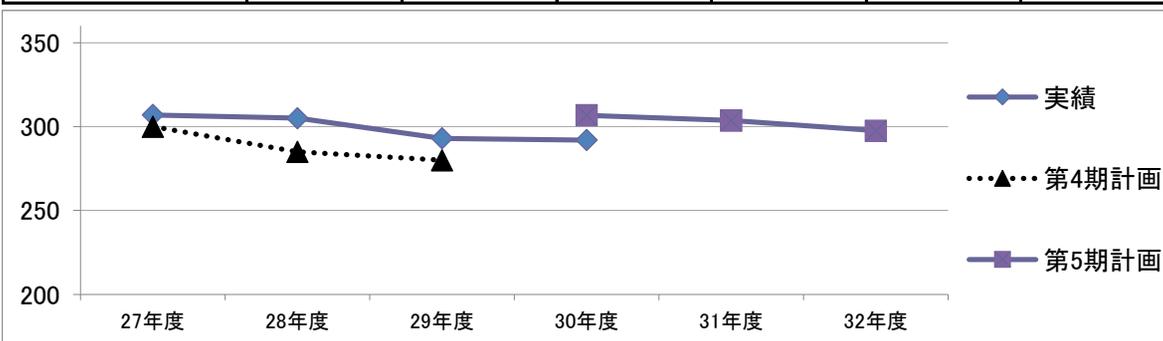
共同生活援助	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	200	215	232	199	199	203
実績	187	182	182	186		
対前年伸び率	101%	97%	100%	102%		
年間利用者数	198	202	196	196		



ほぼ、計画に沿った実績です。

単位：人/月

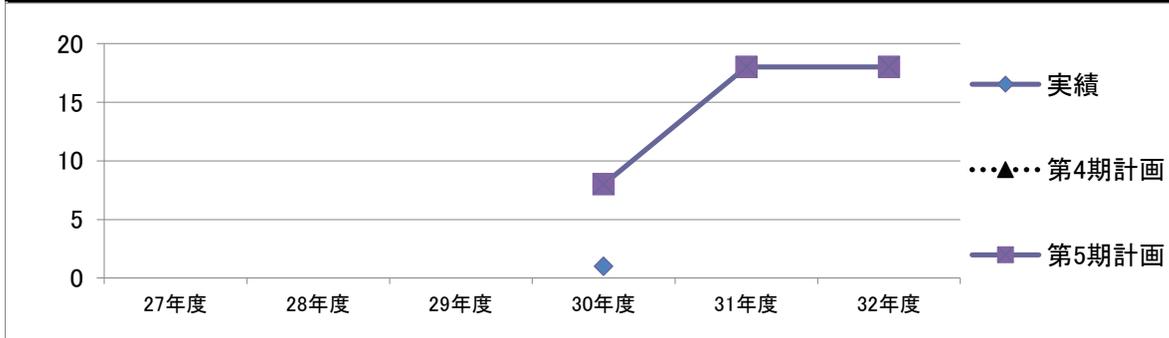
施設入所支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	300	285	280	307	304	298
実績	307	305	293	292		
対前年伸び率	99%	99%	96%	100%		
年間利用者数	324	317	302	303		



新規の施設入所者が少ないため、計画を下回る実績です。

単位：人/月

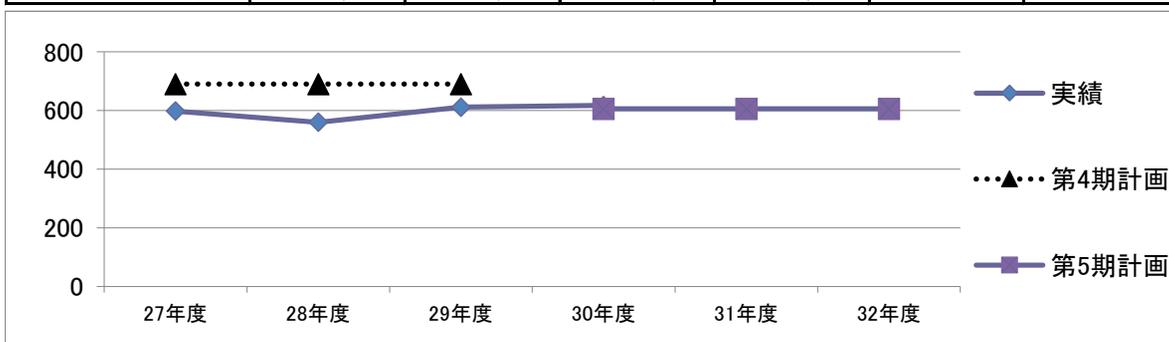
自立生活援助	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	-	-	-	8	18	18
実績	-	-	-	1		
対前年伸び率	-	-	-	-		
年間利用者数	-	-	-	3		



新規サービスで、市内2事業所がサービスを提供しています。今後、利用者増が見込まれます。

単位：人/月

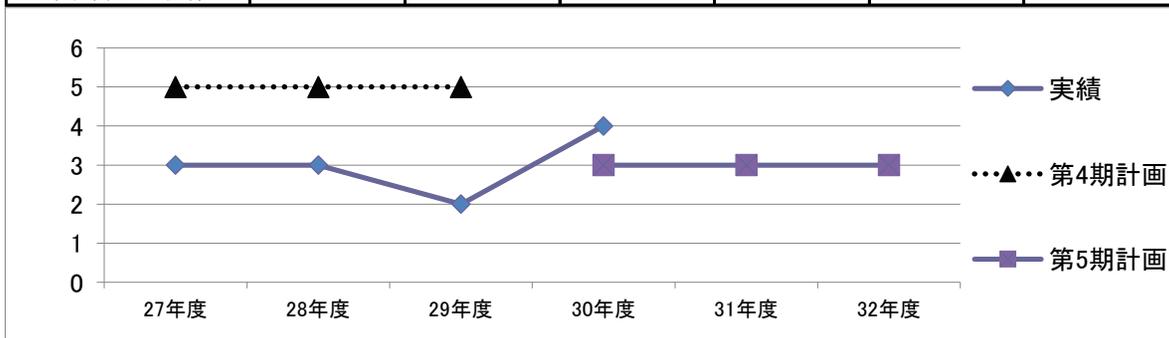
計画相談支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	690	690	690	606	606	606
実績	598	560	611	617		
対前年伸び率	120%	94%	109%	101%		
年間利用者数	1,388	1,401	1,466	1,487		



報酬改定により計画相談支援サービスが拡充され、計画を上回る実績です。

単位：人/月

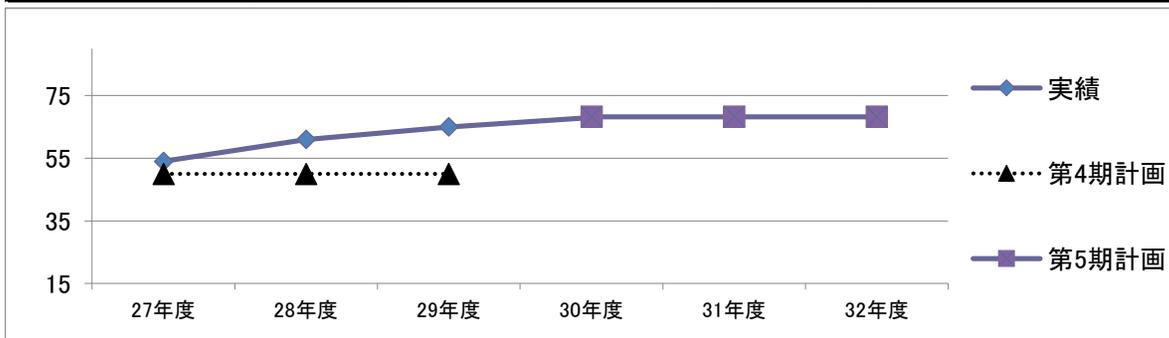
地域移行支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	5	5	5	3	3	3
実績	3	3	2	4		
対前年伸び率	150%	100%	67%	200%		
年間利用者数	9	10	11	8		



ほぼ計画に沿った実績です。

単位：人/月

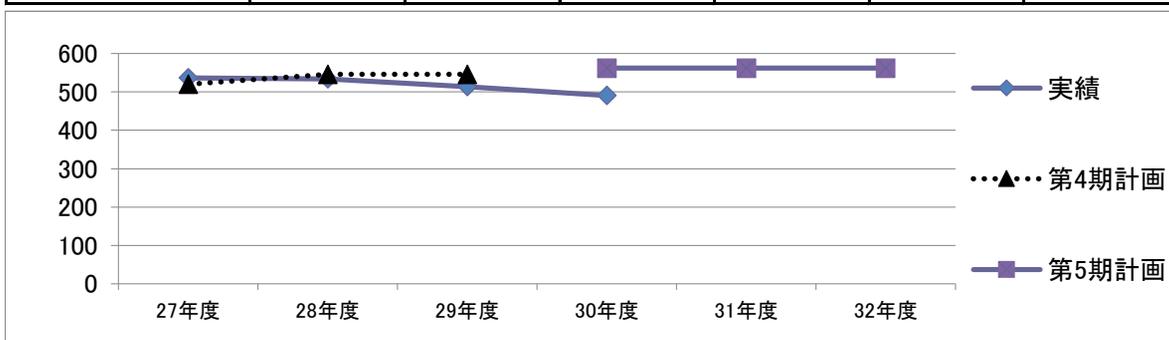
地域定着支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	50	50	50	68	68	68
実績	54	61	65	68		
対前年伸び率	104%	113%	107%	105%		
年間利用者数	65	66	74	88		



ほぼ計画に沿った実績です。

単位：人日/月

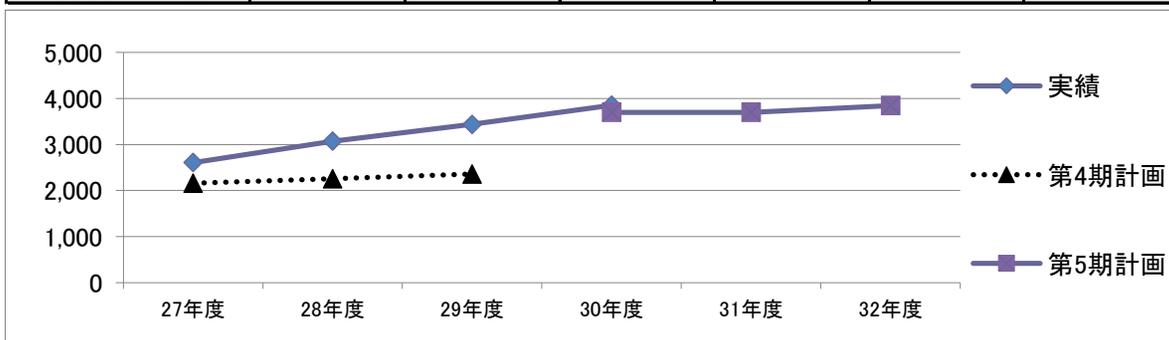
児童発達支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	520	546	546	562	562	562
実績	537	534	514	491		
対前年伸び率	97%	99%	96%	96%		
年間利用者数	111	117	126	124		



新規利用者が少ないため、計画を下回る実績です。

単位：人日/月

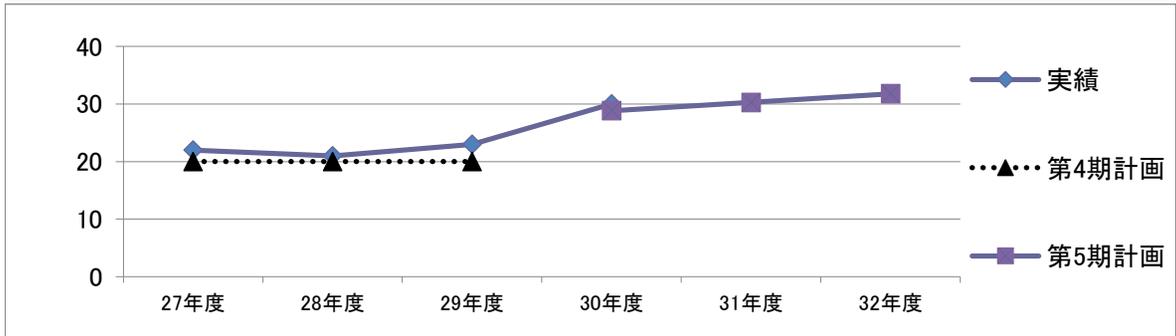
放課後等ディサービス	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	2,160	2,260	2,360	3,698	3,698	3,846
実績	2,611	3,074	3,438	3,855		
対前年伸び率	121%	118%	112%	112%		
年間利用者数	256	275	302	340		



昨年度同様、利用者が増えており、ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人日/月

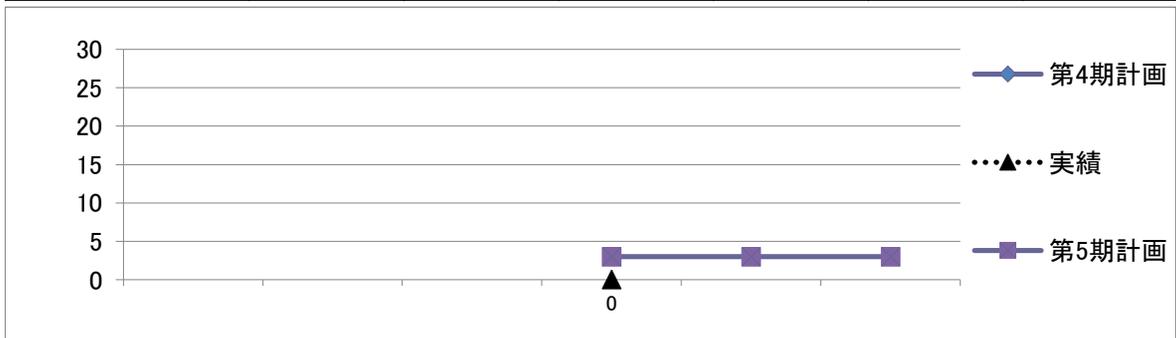
保育所等訪問支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	20	20	20	29	30	32
実績	22	21	23	30		
対前年伸び率	116%	95%	109%	130%		
年間利用者数	22	21	23	30		



利用者、必要なサービスの量も増えており、計画を上回る実績です。

単位：人日/月

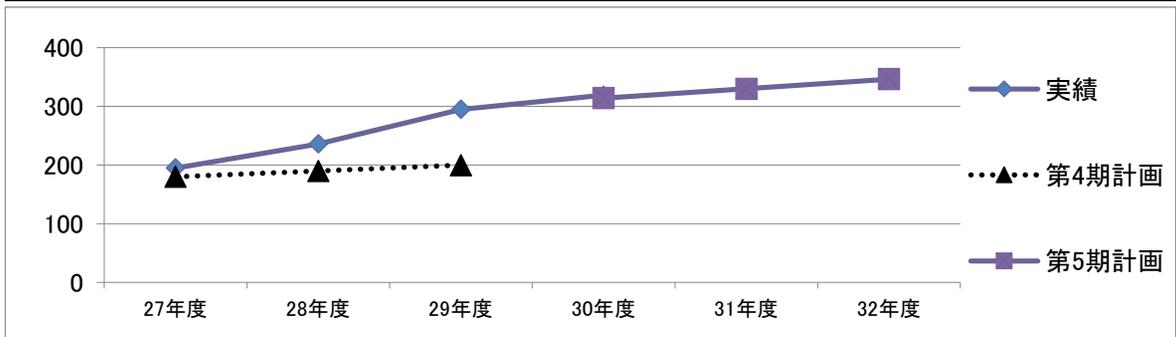
居宅訪問型児童発達支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	-	-	-	3	3	3
実績	-	-	-	0		
対前年伸び率	-	-	-	-		
年間利用者数	-	-	-	0		



新規のサービスで、市内にサービス提供事業所がないこともあり、利用実績はありません。

単位：人/月

障がい児相談支援	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	180	190	200	314	330	346
実績	195	236	295	319		
対前年伸び率	105%	121%	125%	108%		
年間利用者数	359	396	422	462		



報酬改定により障がい児相談支援サービスが拡充され、計画を上回る実績です。

地域生活支援事業 計画数値・実績

単位：人/年・団体/年

自発的活動支援事業	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	1	2	2	2	2	2
実績	1	1	1	1		
対前年伸び率	100%	100%	100%	100%		
年間利用者数	27	24	25	46		

ほぼ計画に沿った実績となりました。

単位：箇所/年

相談支援事業	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	-	-	-	9	9	9
実績	9	9	9	9		
対前年伸び率	100%	100%	100%	100%		

計画どおりの実績となりました。

○成年後見制度利用支援事業

単位：件/年・人/年

(市長申立て)	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	2	2	2	3	3	3
実績	2	3	1	4		
対前年伸び率	200%	150%	33%	400%		
(報酬助成)						
計画値	4	4	4	4	4	4
実績	3	3	7	9		
対前年伸び率	100%	100%	233%	128%		

利用の増加により、計画を上回る実績となりました。

○意思疎通支援事業・手話奉仕員養成事業

単位：人/年

手話通訳等登録者数	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	140	140	140	150	150	150
実績	137	136	149	148		
対前年伸び率	98%	99%	110%	99%		
派遣事業実利用者数						
計画値	45	45	45	50	50	50
実績	41	42	42	44		
対前年伸び率	98%	102%	100%	105%		
手話奉仕員新規登録者数						
計画値	15	-	15	-	20	-
実績	9	-	12	-		
対前年伸び率	60%	-	133%	-		

手話通訳等登録者数は、ほぼ計画に沿った実績となりました。実利用者数は計画を下回る実績となりました。

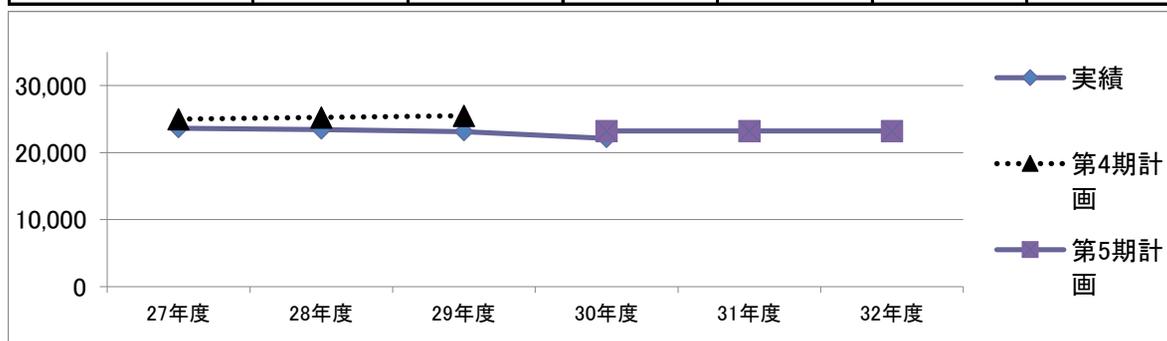
単位：件／年

日常生活用具給付事業	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	812	837	855	860	866	872
実績	800	775	832	875		
対前年伸び率	99%	97%	107%	105%		
(内訳)						
介護訓練支援用具	15	12	7	23		
自立生活支援用具	27	12	22	29		
在宅療養等支援用具	32	28	30	29		
情報・意思疎通支援用具	72	53	88	96		
排泄管理支援用具	652	667	683	693		
住宅改修費	2	3	2	5		
計	800	775	832	875		

ほぼ計画に沿った実績となりました。

単位：時間／年

移動支援事業	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	24,982	25,231	25,483	23,214	23,214	23,214
実績	23,603	23,393	23,117	22,124		
対前年伸び率	100%	99%	99%	96%		
年間利用者数	422	423	425	401		



利用時間・利用者数ともに計画を下回る実績となりました。

地域活動支援センター事業		単位：人／年				
障がい者生活介護型	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	8	8	8	5	5	5
実績	8	4	4	4		
対前年伸び率	89%	50%	100%	100%		

ほぼ計画に沿った利用実績となりました。

精神障がい者通所型	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	-	-	-	210	210	210
実績	212	210	186	174		
対前年伸び率	98%	99%	89%	94%		

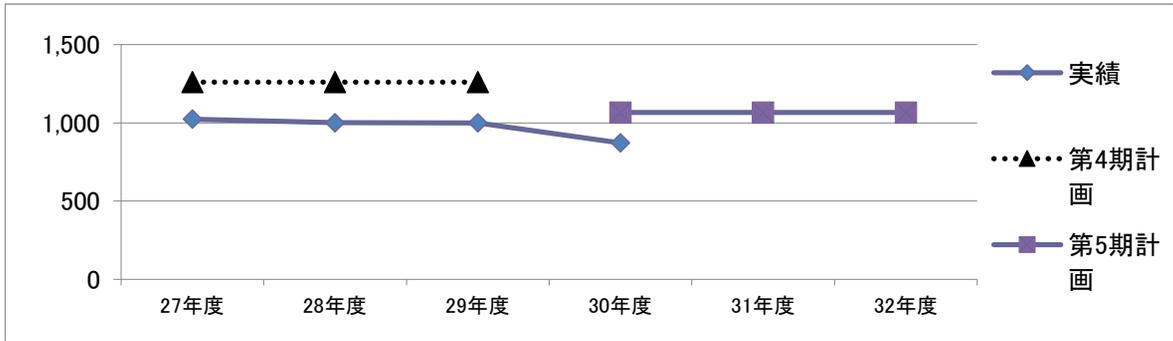
ほぼ計画に沿った実績となりました。

障がい者共同作業所移行型	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	-	-	-	18	18	18
実績	18	18	14	14		
対前年伸び率	120%	100%	78%	100%		

ほぼ計画に沿った実績となりました。

単位：回/年

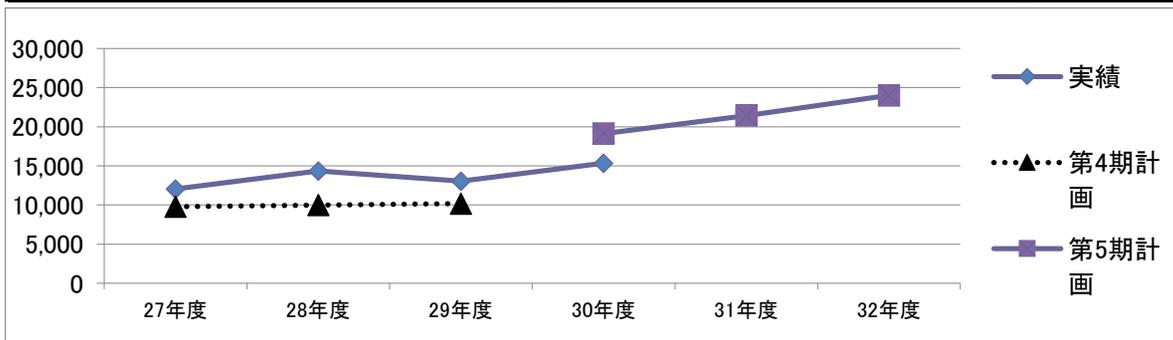
訪問入浴事業	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	1,260	1,260	1,260	1,066	1,066	1,066
実績	1,024	1,001	1,000	872		
対前年伸び率	100%	98%	100%	87%		
年間利用者数	16	16	15	14		



利用者の体調等により、利用回数は計画を下回る利用実績となりました。

単位：時間/年

日中一時支援事業	第4期計画			第5期計画		
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
計画値	9,792	9,987	10,186	19,130	21,426	23,997
実績	12,056	14,353	13,033	15,348		
対前年伸び率	112%	119%	91%	118%		
年間利用者数	225	241	247	253		



利用者数は増加しましたが、利用時間は計画を下回る利用実績となりました。

## 平成30年度 サービス調整会議状況報告

開催日	内 容	参加者
4/24	研修会「ケアガイドラインと相談支援の枠組み」 相談支援事業所 Reve 東相談支援専門員 (島根県相談支援アドバイザー) 行政説明	62名
5/22	事例提供「支援を拒否という状況が繰り返されるAさんへの関わりについて」 ふあっと 足立相談支援専門員 検討事例報告「身体、知的障がい、精神科受診のある方の支援について」 出雲サンホーム 見戸相談支援専門員	58名
6/26	5月事例検討から地域課題を考える 検討事例報告「精神科病院退院後の生活支援について」 ふあっと 嘉本相談支援専門員	49名
7/24	居宅介護支援事業所との意見交換、グループワーク テーマ「連携を取るためには？情報共有するためには？」	67名
8/28	事例提供「医療保護観察終了後の未来に向けた事例について」 りこっと 村松相談支援専門員 ミニ講義「保護観察所における障がいのある人の処遇について」 松江保護観察所から	72名
9/20	8月事例から地域課題を考える 検討事例報告「知的障がいを持つ夫婦が養育していくために必要なサービス と地域資源について」 太陽の里 米山相談支援専門員	50名
10/23	研修会「保護観察、医療観察について知ろう」 松江保護観察所 社会復帰調整官 深貝登志子氏 松江地方検察庁 社会福祉アドバイザー 長廻芳行氏 グループワーク	51名
11/27	各専門部会等の2年間の活動報告、グループワーク ○つながる専門部会           ○ささえる専門部会 ○くらし専門部会           ○人材育成チーム ○じりつ専門部会           ○就労支援ネットワーク会議 ○こども専門部会 各相談支援事業所へ地域課題を提出依頼	50名

開催日	内 容	参加者
12/25	平成31年度から専門部会で検討する課題を整理するために、相談支援専門員から提出された地域課題をカテゴリー別に分類する。 6グループでカテゴリー分けしたものを平成31、32年度で取り組みべき課題についてまとめる。	50名
1/22	事例提供「養護者による障がい者虐待を疑われる事例について」 ハートピア出雲 萬代相談支援専門員 保護2係 奥井ケースワーカー 検討事例報告「自閉症、知的障がいのある方への支援について (外国籍の方)」 そうゆう相談センター 勝部相談支援専門員	46名
2/26	相談支援専門員とサービス管理責任者との意見交換、グループワーク テーマ ①サービス管理責任者と相談支援専門員お互いの情報	65名
3/26	研修会(平成30年度障がい者虐待防止研修会) 出雲市障がい者虐待センターの虐待対応フロー図について 虐待の未然防止への意見交換	50名

### 平成30年度 運営会議報告

月1回 サービス調整会議後、1時間から1時間半開催しています。

検討内容としては、

- ①抽出された地域課題の確認、各会議への振り分け
- ②解決の為のシステム（新規サービス）を検討する。
- ②各会議の進捗状況を管理（各会議の企画、報告）する。
- ③推進協議会へ提案していく内容を検討する。
- ④相談支援事業所、サービス事業所からの提案、意見交換をする。
- ⑤サービス調整会議の年間計画の作成をする。

メンバーは、9委託相談支援事業所、専門部会部長、市（福祉推進課、支所）

司会は、機能強化事業所（ハートピア出雲・ふあっと）が行いました。

## 人材育成チーム報告

目標「利用者の生活の質が向上するための計画を立てることができる相談員になる」

### <研修会>

開催月日	内 容	参加者
6月22日	当事者理解～相談支援専門員として～	36名
7月27日	「生活の質をよくする」ために相談員支援専門員ができること、すべきこと	36名
8月17日	面接技術の基本 ～コミュニケーション力をつける～	35名
9月21日	面接技術	31名
10月12日	アセスメント	31名
11月15日	中間まとめ「人の想いを聴くために」	38名
12月14日	アセスメント ～本人にとって意味のあるアセスメントをするために～	35名
1月11日	アセスメント ～想いに着目して、深める～	33名
2月20日	アセスメント ～想いに着目して、深める～ part2	33名
3月8日	アセスメント～計画策定～支援会議	26名

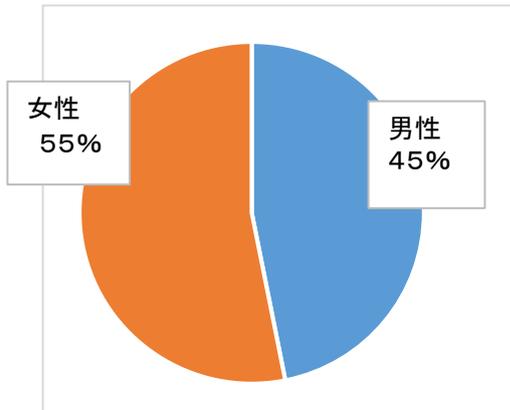
### <会議>

人材育成チーム 会議 18回

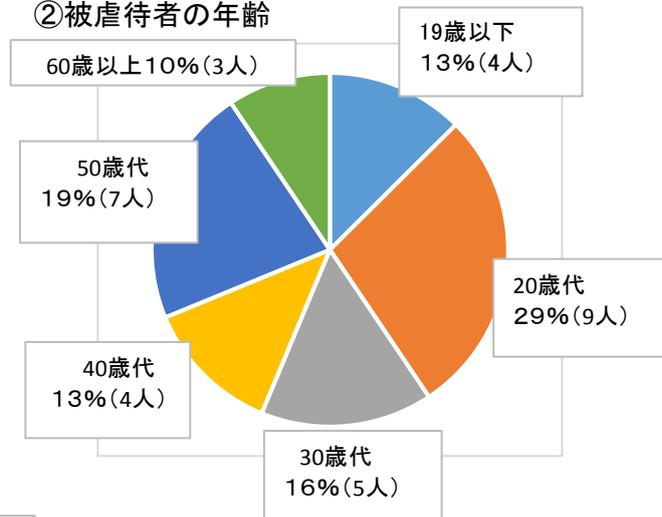
出雲市障がい者虐待防止センター報告（平成24年10月～平成31年3月末）

1. 養護者による虐待 虐待と確認できた件数 32件（相談・通報届出件数 54件）

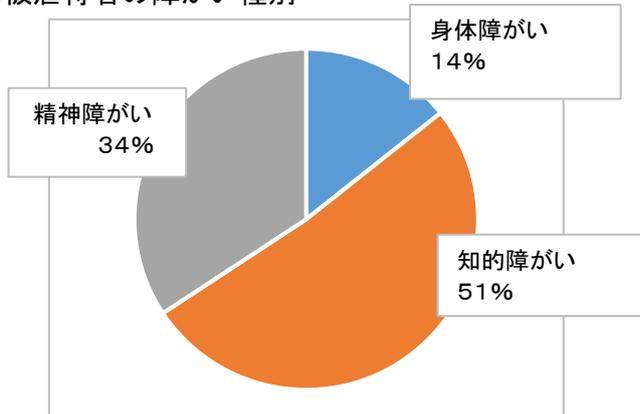
①被虐待者の性別（男性15人、女性17人）



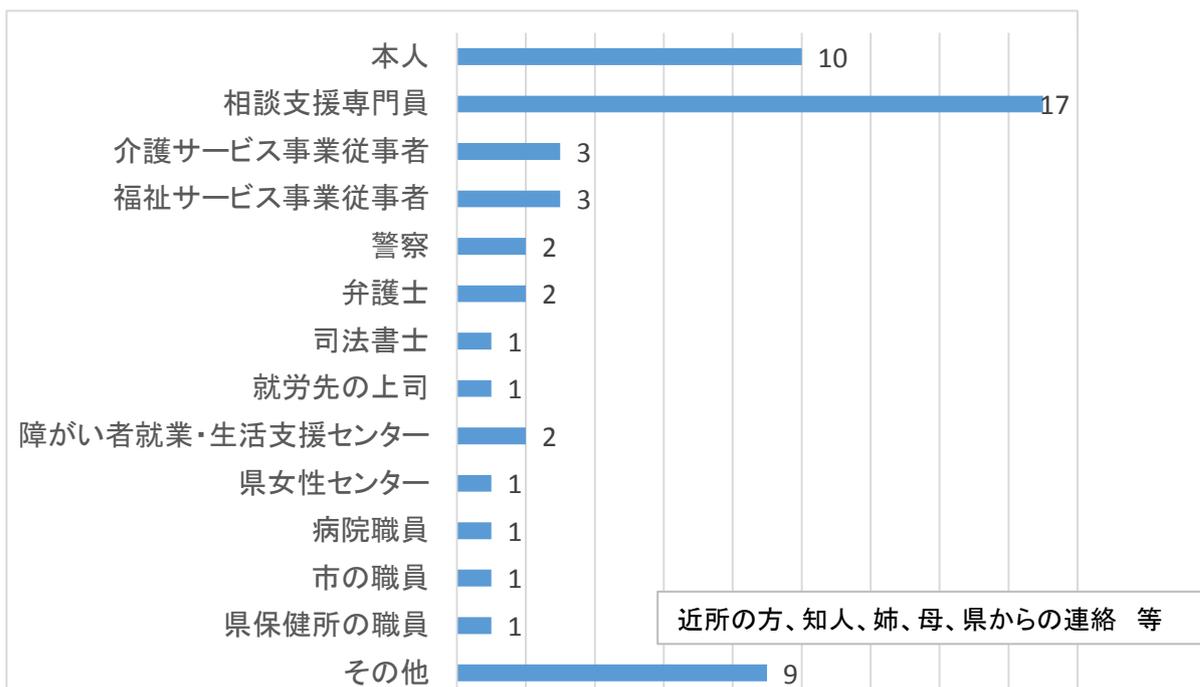
②被虐待者の年齢



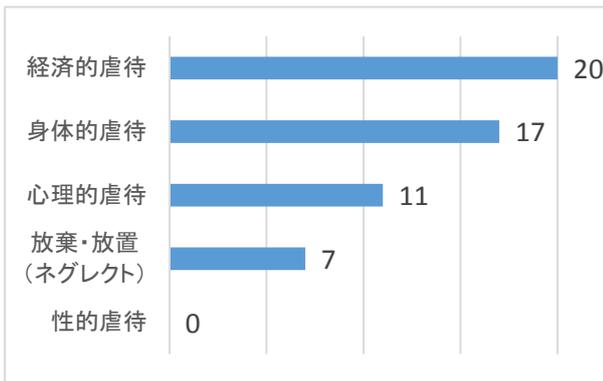
③被虐待者の障がい種別



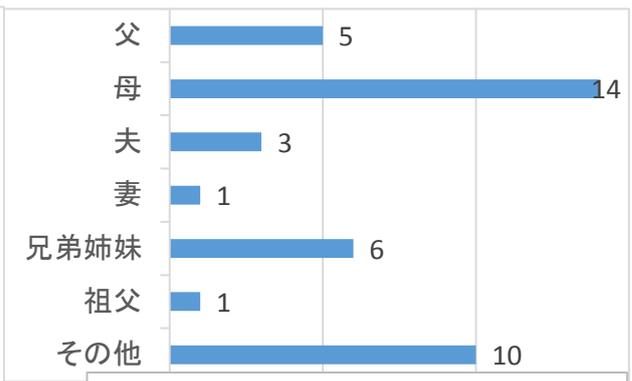
④通報届出者



⑤虐待の種別・類型(重複あり)

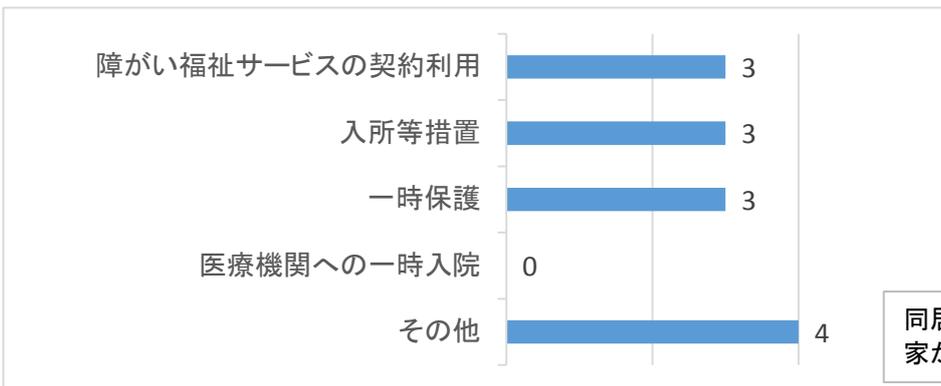


⑥虐待者との関係(重複あり)



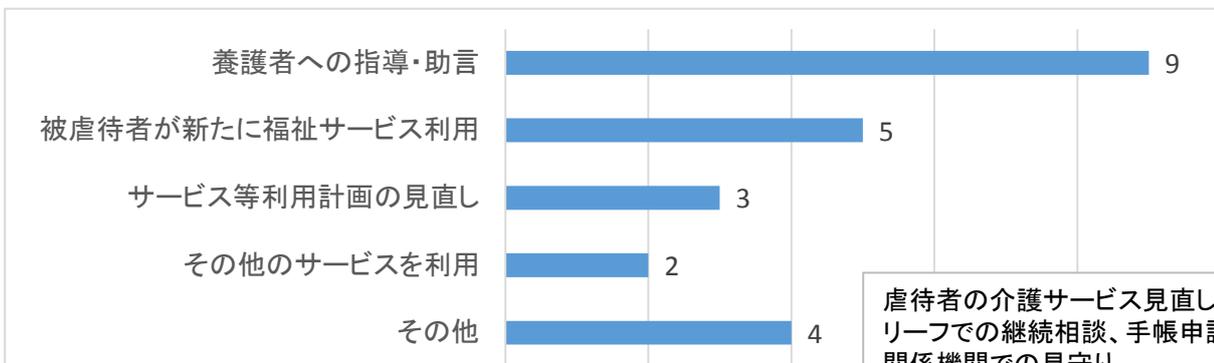
同居人(3)、従兄弟夫婦、義父、叔母、義妹

⑦分離を行った事例の対応の内訳(13件)



同居人を家から分離(2)  
家からアパートへ転居(2)

⑧分離を行っていない事例の対応の内訳(23件) 重複あり



虐待者の介護サービス見直し  
リーフでの継続相談、手帳申請  
関係機関での見守り

2. 障がい者福祉施設従事者等による虐待

虐待を受けたと判断した件数 5件(相談・通報届出件数 16件) 被虐待者数 14人

①虐待を受けたと判断した事例

施設種別:障害者支援施設等 3件、共同生活援助(グループホーム) 1件、放課後等デイサービス 1件  
虐待の種別:身体的虐待 4件、経済的虐待 1件

②事実確認調査の対象となった事業の種別

障害者支援施設 3件、療養介護施設 2件、共同生活援助 2件、就労継続支援A型 2件、  
就労継続支援B型 3件、放課後等デイサービス 2件

## 平成30年度出雲市障がい者差別相談センター等状況報告

## 1. 相談件数

年度	出雲市		県全体	
		不当な差別的取扱い	合理的配慮の不提供	
H28	7件	4件	3件	14件
H29	7件	2件	5件	30件
H30	6件	3件	3件	(現時点で未公表)

## 2. 啓発等の取組状況

年度	出前講座等	内容	啓発活動	
				内容
H28	11件 (323名)	地区社協、福祉事業所、 指定管理者等	3件	ICV「市政のひろば」、 障がい者週間、講演会
H29	7件 (248名)	地区社協、 福祉団体等	2件	障がい者週間、講演会
H30	8件 (1,157名)	コミセン、市職員、 地区社協等	2件	障がい者週間、 出雲商工会議所専門部会

## 3. ヘルプマークの交付実績

平成29年12月(開始)～平成31年3月末時点(島根県障がい福祉課提供・体裁一部加工)

交付窓口	H29年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度計	総計
松江市	32	25	15	17	13	21	7	9	13	15	15	25	8	183	215
浜田市	19	1	12	6	51	14	2	3	2	4		2	4	101	120
出雲市	258	32	37	37	43	33	30	32	28	41	27	22	40	402	660
益田市	6	4	2	6	29	3		4		3	4	3	5	63	69
大田市	32	13	22	4	4	3	3	1	1	1			2	54	86
安来市	8	1	7	5	4	3	8	1		3	1	2	1	36	44
江津市	8		3	2		1	1			3			3	13	21
雲南市	16	2	3	4	1	3	2	1			2	3	1	22	38
奥出雲町	10		1		2	2	1	1					1	8	18
飯南町			2											2	2
川本町					1								1	2	2
美郷町	1			2	2	3	2	1	2					12	13
邑南町	10	1	2	1		1						1	2	8	18
津和野町	2			2	6		1							9	11
吉賀町	1														1
海士町	1	1												1	2
西ノ島町															
知夫村															
隠岐の島町	1		2						1		1		2	6	7
島根県	182	3	8	4	9	13	7	5	6	11	3	1	0	70	252
視障協(団体)										12		37		49	49
総計	587	83	116	90	165	100	64	58	53	93	53	96	70	1,041	1,628

## 平成30年度手話普及の取組状況報告

出雲市手話の普及の推進に関する条例第6条第1項(施策の実施)

取組内容		対象者・場所	H30実績	新規	備考
(1) 手話に触れる機会の拡大を図る施策					
① 「出前講座」の実施	学校等		8件		H27:3件、H28:5件、H29:8件
	地域・事業所等		21件 642名	◎	
(2) 手話を学ぶ機会の確保を図る施策					
① 「手話ミニ講座」の実施	一般市民		修了 61名	◎	1講座3回で年10講座開催 修了者へ「手話サポーターバッジ」贈呈
	親子(小学6年以下)		80名 (夏休み56名、 冬休み24名)	◎	夏休みと冬休みに各1回開催 参加者へ「大好き手話」バッジ贈呈
(3) 手話による情報発信及び情報取得の機会の拡大を図る施策					
①	市政のひろば(ICV制作)に手話映像追加	一般市民	3回	◎	全4回のうち、2回目以降の3回で実施 (2回目は、福祉推進課出演(手話))
②	広報いずも 手話枠掲載	一般市民	12回	◎	月1回掲載(いずも、日本遺産、梅雨、キャンプ、 祭り、運動会、神在月、縁結び、正月、マラソン、 引っ越し、選挙)
③	広報掲載の手話をYouTube動画配信	一般市民	12回	◎	
④	各種イベントでの手話通訳者配置	一般市民	39件 (うち市主催分11件)		H27:43件、H28:47件、H29:39件
⑤	手話テキスト作成	一般市民	1,000部作成		
(4) 手話による意思疎通支援の充実を図る施策(=設置手話通訳者の増員)					
①	意思疎通支援	聴覚障がい者等	3名		H30年度から1名増(3名体制)
(5) 手話通訳者等の育成及び確保を図る施策					
①	レベルアップ講座	手話奉仕員	15名	◎	手話奉仕員から手話通訳者を目指す人のサポート ※出雲市社会福祉協議会へ委託
②	要約筆記啓発講座	一般市民	20名	◎	H31年3月に「気軽に筆談セミナー」を開催
③	手話奉仕員養成講座(2年間) (厚生労働省養成カリキュラムによる)	一般市民	21名		H30年度は入門編(23回/年度・2H/回) ※出雲市社会福祉協議会へ委託
④	手話奉仕員フォローアップ研修 (厚生労働省養成カリキュラムによる)	手話奉仕員	年6回 延84名		※出雲市社会福祉協議会へ委託
⑤	要約筆記奉仕員フォローアップ研修 (厚生労働省「要約筆記者養成カリキュラム」 に沿った講座)	要約筆記奉仕員	年3回 延19名		※出雲市社会福祉協議会へ委託

## 平成30年度生活保護精神障がい者退院促進事業 状況報告

### 《事業概要》

当該事業は、精神障がいのため長期に渡り入院を余儀なくされており、生活保護を受給している方に対し、退院を支援するものである。生活保護を受給している方が社会に復帰し、退院後も自立生活を継続できるよう支援している。

また、生活保護費のうち全体の5割以上を医療扶助が占めており、長期入院患者が退院することで生活保護費の縮減にも寄与した。

なお、国の補助により平成19年度から実施している。

### 《平成30年度 事業の状況》

#### ○ 生活保護受給者を対象とした地域移行支援

\*精神科医療機関に長期入院中の対象者 12人（うち前年度からの継続12人）

\*退院に至ったケース 0人

\*状況：退院支援継続中 2人

病状が不安定で退院できない10人（うち累積金により生活保護廃止1人）

#### 【地域移行支援 対象者年齢別内訳】

年代	人数		平均入院月数
40～49歳	1人	退院支援継続中 1人	32か月
50～59歳	0人		0か月
60～64歳	1人	病状により支援できない 1人	233か月
65歳以上	10人	退院支援継続中 1人 病状により支援できない 9人	67か月 150か月
75歳以上(再掲)	3人	病状により支援できない 3人	210か月

#### ○ 生活保護受給者を対象とした地域定着支援

\*地域移行した対象者 16人（うち前年度からの継続 16人）

\*居住先：自宅（単身）13人、グループホーム2人、高齢者グループホーム1人

#### ○ 生活サポーター活動

#### ○ 単身生活を体験するための部屋の利用と退院後の住宅確保支援

#### ○ 医療機関、相談支援事業所の関係者等を対象とした研修会の開催

令和元年度 指定特定相談支援事業者等指導予定

指定特定相談支援事業者

指定障がい児相談支援事業者 指導スケジュール

集団指導・実地指導実施周知【5月 サービス調整会議】

\*実地指導事業所（9カ所）



指導調書周知【7月 サービス調整会議 28事業所】

\*調書はメールにて送付



指導調書回答期限【8月初旬 事業所からメールで回収】



実地指導実施通知発出【8月中旬】

\*実地指導調書作成提出依頼



実地指導【9月：1事業所 10月：6事業所 11月：2事業所】



実地指導結果通知【10月中旬、11月下旬】

\*改善状況報告書提出依頼⇒指導事業所報告締切 11月中旬、12月下旬



集団指導実施通知発出【1月サービス調整会議】



集団指導実施【3月 28事業所対象】

令和元年度(2019)指定特定相談支援事業者・指定障がい児相談支援事業者 実地指導スケジュール一覧(予定)

No.	実地指導事業者	実施年月日・実施時間	指導担当職員	指導場所	指定年月日	指定の種類
1	相談支援事業所 ハートピア出雲 23-2720 出雲市武志町693番地6	令和元年10月31日 木曜日 *指導監査室と同日に実施予定 9:30~11:30	福祉推進課自立支援給付係  大国、川上	各 相 談 支 援 事 業 所 事 務 所	平成30年4月1日	指定計画相談支援
						指定障害児相談支援
2	ふあっと 25-0130 出雲市武志町693番地1	令和元年9月19日 木曜日 *指導監査室と同日に実施予定 9:30~11:30	福祉推進課自立支援給付係  川上、立花		平成30年4月1日	指定計画相談支援
3	出雲サンホーム相談支援事業所 43-3200 出雲市神西沖町1315番地	令和元年10月9日 水曜日 *指導監査室と同日に実施予定 9:30~11:30	福祉推進課自立支援給付係  大国、立花		平成30年4月1日	指定計画相談支援
						指定障害児相談支援
4	相談支援事業所 光風園 43-2101 出雲市湖陵町大池240番地1	令和元年10月10日 木曜日  13:30~15:30	福祉推進課自立支援給付係  大国、川上		平成30年4月1日	指定計画相談支援
					平成30年8月1日	指定障害児相談支援
5	相談支援事業所 かのん 25-8811 出雲市神西沖町2476-1	令和元年10月3日 木曜日 *指導監査室と同日に実施予定 9:30~11:30	福祉推進課自立支援給付係  川上、立花		平成30年4月1日	指定計画相談支援
6	知的障害児施設 さざなみ学園 31-9996(直通) 出雲市神西沖町2534番地2	令和元年10月15日 火曜日  9:30~11:30	福祉推進課自立支援給付係  大国、立花	平成30年4月1日	指定計画相談支援	
					指定障害児相談支援	
7	プレーゲ 62-2977 出雲市灘分町613番地	令和元年11月13日 水曜日  10:00~12:00	福祉推進課自立支援給付係  大国、川上	平成30年4月1日	指定計画相談支援	
					指定障害児相談支援	
8	太陽の里 72-9125 出雲市斐川町名島90番地	令和元年11月13日 水曜日  13:30~15:30	福祉推進課自立支援給付係  川上、立花	平成30年4月1日	指定計画相談支援	
9	そうゆう相談センター 72-7085 出雲市斐川町学頭1625番地27	令和元年10月31日 木曜日  13:30~15:30	福祉推進課自立支援給付係  大国、立花	平成30年4月1日	指定計画相談支援	

## 令和元年度 就労支援ネットワーク会議 事業計画書

メンバー	<p>会長：青木（あそび）  副会長：足立（まるべりー斐川）  書記：口羽（出雲保健所）、大塚（みずうみ）  委員： 日野（エルパティオ三葉園） 秋田（ハローワーク出雲）  葛西（ワークセンターフロンティア） 藤江（ユーアイワーク）  安田（リーフ） 柳楽（ぼんぼん船）  秋山・甲斐（出雲養護学校） 萬代（ハートピア出雲）  明正（なかよし） 富岡（ふあっと）  石崎（やまびこ園） 小豆澤（豆の樹）  水岩田（デイケアピノキオ） 黒目（デイケアきらり）  鍵山（こころの医療センター）  事務局：和田（福祉推進課）</p>
現 状 (問題点・課題)	<p>①障がい者の就労をめぐるには、福祉・労働・教育・医療・行政など他分野の関係機関がかかわっている。当事者にとって最善の支援を行っていくためにも、必要な支援システムを創造していくためにも、互いに顔が見える連携、協働が生まれる基盤としての関係機関ネットワークが必要である。</p> <p>②障がい者雇用率が年々引き上げられる中で、企業側も障がい者雇用を真剣に考え、社会貢献、人材不足の解消として注目している。障がいに関する知識、障がい者雇用制度の存在など支援者側からも発信すべきことは多く存在する。より良いマッチングや就労定着支援を考えていく上では、企業側のニーズをしっかりと捉え相互理解と連携の地盤づくりを進めていくことが必要である。</p> <p>③平成30年度より創設された就労支援事業に関して、当事者のニーズに合った質の高い支援が提供できるよう、事業を実施する事業所や関係機関のあいだで情報交換や検討の場が必要である。また、就労定着支援事業の対象でない当事者にも利用してもらえるゆるやかな支援の場として、気軽に話せる集いの場は継続していく必要がある。</p> <p>④精神障がい者への就労支援、定着支援には医療機関とのかかわりが必須であるが、連携の有無やあり方にはばらつきが大きい。福祉と医療の連携強化を図るために、課題を共有化し、あり方を考えていく取り組みを継続していく必要がある。</p>
テーマ (ねらい)	<p>【今年度の目標】</p> <p>①障がい者の一般就労を支援する組織横断的な事業の企画運営  ②企業とのつながり作り  ②就労定着支援に関する活動  ③精神障がい（発達障がいを含む）者への就労支援・定着支援のあり方検討</p>
具体的方法 (評価を含む)	<p>* 合同ジョブガイダンス：10月開催  * 企業情報交換会：9月開催  * 産業政策課との連携  * はたらく仲間のコーヒータイトム：毎月第3金曜日 18:00～19:00  * 就労定着支援事業に関する情報交換とあり方検討  * 自己理解・情報共有ツールの開発</p>

## 年 間 計 画

月	内 容	備 考
4 月	4/19 はたらく仲間のコーヒータイム（毎月第3金曜） 4/24 第1回ネットワーク会議（9：30～） 活動計画について話し合い	ふじひろ珈琲 市役所 401 会議室
5 月		
6 月	6/25 第2回ネットワーク会議 （1～2月に1回のペースで継続開催）	市役所 401 会議室
7 月		自己理解・ 情報共有 ツール作り
8 月		
9 月	企業との情報交換会	
10 月	10/25 合同ジョブガイダンス	講師：ジョブカフェしまね
11 月	（11/1 合同面接会）	朱鷺会館
12 月		
1 月		
2 月	自己理解・情報共有ツール完成	
3 月	今年度の反省、次年度計画	

## 令和元年度 つながる専門部会 事業計画書

部会メンバー	部会長 : 玉木 (かのん) 副部会長: 玉木 (太陽の里) メンバー: 東 (Reve)、渡部・布野 (ふあっと)、吉田 (CSいずも)、 今岡 (平安堂)、岡本 (さざなみ学園)、 古川 (出雲高齢者あんしん支援センター)、平田 (出雲保健所)、 林 (サンホーム指定居宅介護支援事業所)、川上・原 (福祉推進課)
現状 (問題点・課題)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険とつながる: 障がい福祉サービスから介護保険への移行について、今後も福祉サービスと介護保険サービスの比較表(介護保険サービスの違い: 移行後も使えるもの、使えないもの)を更新し、知識を深めるため介護支援専門員との共同研修を年1回企画し実施していく必要がある。</li> <li>2. 地域とつながる: 専門部会との認識の距離は縮まりつつあるが、まだ連携という段階までには進めていない為、コミセンの行事等に参加したり、職員と何かの機会を利用して意見交換した方が良い。コミセンの年間活動を教えてもらい相談支援専門員に対する理解を広めていく必要がある。</li> <li>3. 医療とつながる: 医療との連携については地域生活支援拠点でも課題となっている。こども部会やじりつ部会と共同で地域課題に取り組めるよう検討する必要がある。</li> </ol>
テーマ (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険とつながる: 前年度同様、ケアマネと相談支援専門員がお互いに顔を合わせ、相互理解を深め連絡がとりやすく同じ目的に向かって共同できる環境作りをする。</li> <li>2. 地域とつながる: コミュニティセンターと連携を図りながら、地域住民に障がい福祉について知って頂けるように働きかける。</li> <li>3. 医療とつながる: こども部会、じりつ部会のメンバーと情報共有を行いながら、現状の課題の整理と、その課題を解決していくための具体的な動きについて検討する。</li> </ol>
具体的方法 (評価を含む)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険とつながる: 障がい福祉サービスと介護保険サービスの比較表の見直し、ケアマネとの事例検討を年1回実施。</li> <li>2. 地域とつながる: コミュニティセンターへ出向き地域とのつながりを意識しながら相談支援の役割等について普及・啓発に取り組む。また相談支援専門員の役割について住民に知って頂くためのチラシ作りを行う。まずはモデル地区として、川跡コミセン、神西コミセンに働きかけを行う。</li> <li>3. 医療とつながる: 医療の受け入れ態勢について考えていく。他の部会(じりつ、こども)と話し合い、課題の共有や今後の連携について検討していく。</li> </ol>

## 年 間 計 画

月	内容	備考
4 月		
5 月	第1回つながる WG 今後のつながる部会の計画(方向性)について	
6 月		
7 月	第2回つながる WG 企画案等について	
8 月		
9 月	第3回 つながる WG	
10 月		
11 月	第4回つながる WG ケアマネとの事例検討会の準備会	
12 月	ケアマネとの事例検討会	
1 月		
2 月	第5回つながる WG 2019年度の振り返り、次年度課題検討	
3 月		

- (随時) ①コミュニティセンターへの普及・啓発について  
 ②医療との連携について(こども、じりつ部会との連携含む)

## 令和元年度 じりつ専門部会 事業計画書

メンバー	<p>部会長 : 渡部 (ふあっと)</p> <p>副部会長: 長廻 (出雲サンホーム)</p> <p>メンバー: 勝部 (そうゆう)、岩崎 (かのん)、東・富岡 (Reve)、 飯島 (こころの医療センター)、金山・佐藤 (光風園)、 長澤 (美野園)、大国・山田・立花 (福祉推進課)</p>
現 状 (問題点・課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域生活支援拠点の整備に向け、緊急時の受け入れと対応について受入れ先の実態把握、情報交換、情報共有ができていない。</li> <li>・ 「緊急時」とは何か、定義は必要なのか、具体的方策の検討が必要</li> <li>・ 精神障がい者の退院支援に対する方法の検討が必要</li> </ul>
テーマ (ねらい)	<p>障がいをもった方も支援者も安心して緊急時の受け入れと対応ができ 住み慣れた街で安心して生き活きと暮らすために何が必要か、 ひと工夫を検討する</p>
具体的方法 (評価を含む)	<p>※ (緊急時受け入れ体制の整備についての検討)</p> <p>部会の開催: 毎月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① アンケート調査の実施</li> <li>② ささえる部会 WG との情報交換、情報共有</li> <li>③ 課題に対する具体的な方策の検討</li> </ol> <p>※ (精神障がい者の退院支援に対する方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 出雲市精神障がい者退院支援ワーキング会議 年 12 回 (主に事例検討)</li> <li>② 出雲市精神障がい者ネットワーク会議 年 3 回</li> </ol>

## 年 間 計 画

月	内 容	備 考
4 月	部会開催（24 日） 今後の部会日程調整	移行 WG（25 日）
5 月	部会開催（9 日） 年間計画、短期入所の実態把握に向けて検討 短期入所向けアンケート実施 （ささえる部会 WG にアンケート依頼する）	移行 WG（17 日）
6 月	部会開催（13 日） 当事者、相談支援事業所向けアンケート内容の検討	移行 WG（18 日）
7 月	部会開催（11 日） アンケート実施、実態把握（課題整理）	移行 WG（25 日）
8 月	部会開催（8 日） ささえる部会 WG との情報交換、情報共有	移行 WG（22 日）
9 月	部会開催（5 日） 情報交換、情報共有からの課題整理	移行 WG（26 日）
10 月	部会開催（10 日） 「緊急時」の定義についての検討	移行 WG（24 日）
11 月	部会開催（7 日） 課題に対しての具体的な方策の検討	移行 WG（28 日）
12 月	部会開催（12 日） 課題に対しての具体的な方策の検討	移行 WG（26 日）
1 月	部会開催（9 日） 具体的実施に向けての検討	移行 WG（23 日）
2 月	部会開催（13 日） 具体的実施に向けての検討、まとめ	移行 WG（27 日）
3 月		移行 WG（26 日）

## 令和元年度 こども専門部会 事業計画書

メンバー	<p>部会長：板倉（さざなみ学園）</p> <p>副部会長：田中（プレーゲ）</p> <p>メンバー：高松（さざなみ学園）、川上（ハートピア出雲）</p> <p style="text-align: center;">福田由（プレーゲ）、山形（CSいずも）、大場（福祉推進課）</p>
現 状 (問題点・課題)	<p>○教育の連携において、教育の現場に相談支援専門員の動きや福祉サービスの内容を知ってもらう必要がある。その上で役割分担を明確にするなど連携がスムーズに行えるような手立てが必要。</p> <p>○医療的ケアや配慮の必要な児童等の支援について、その対応の理解と支援者の連携が必要である。役割分担を明確にし、連携に必要なことを具体的に示して課題の解決に努める。</p>
テーマ (ねらい)	<p>○「教育関係との連携」において、子供の成長に応じた連携が行える仕組みづくりに向けて、課題整理と手立てを考える。</p> <p>○「医療的ケアや、配慮の必要な児童」等への理解と支援の現状把握と課題の整理を行う。</p> <p>※ニーズを具体的にし、手立てを考える。現状を知ること。知ってもらうこと。お互い（関係機関同士）の理解を深める。アプローチをどこにしていくなかを明確にする。</p>
具体的方法 (評価を含む)	<p>○教育との連携・課題について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを具体的に示して対応を考える。アンケートを実施する。</li> <li>・教育機関へ福祉サービスのことを知ってもらう機会を設ける。スムーズな連携が取れるようにお互いの動き（支援）を知ることが必要。</li> </ul> <p>○医療との連携・課題について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを具体的に示して対応を考える。</li> <li>・まずは、相談支援専門員が医療的ケア児、配慮の必要な児童等の支援の仕方・流れ等理解が必要。勉強会等を通じ、現状を知ること、相談支援専門員のスキルアップを行う。</li> </ul>

## 年 間 計 画

月	内 容	備 考
4月	(準備会)	
5月	20日 第1回 部会 ・前年度の振り返り ・今年度の取り組み、活動内容の検討	
6月	18日 第2回 部会 ・課題整理や手立ての手段についての検討	
7月	26日 第3回 部会 ・アンケート実施についての検討 ・パンフレット作成についての検討	
8月	20日 第4回 部会 アンケート実施、パンフレット案検討	
9月		24日 専門部会活動報告
10月	17日 第5回 部会 22日 サービス調整会議 勉強会「医療ケア児とは」	
11月	20日 サービス調整会議 事例検討「医療ケアが必要な児の支援について」	
12月	16日 第6回 部会 ・まとめ、振り返り	
1月	14日 第7回 部会 ・次年度の課題整理	
2月	・まとめ	25日 専門部会活動報告
3月		

## 令和元年度 ささえる専門部会 事業計画書

メンバー	<p>部会長 : 長澤 (美野園)</p> <p>副部会長 : 高尾 (ハートピア出雲)</p> <p>メンバー : 【書記】 青木 (あそび)</p> <p>居住系 WG : 矢野・松村 (ふたば園)、三島 (太陽の里)</p> <p>グループホーム WG : 三島 (ハートフルホームかんど)、金友 (WANA JAPAN)</p> <p>日中活動系 WG : 阿食 (麦の家)、坂本 (ハートピア出雲)</p> <p>就労支援 WG : 柳楽 (フロンティア)、宗 (エルパティオ三葉園)、柳楽 (ぽんぽん船)</p> <p>居宅介護 WG : 岡田 (ニチイアセンター出雲南)、吉川 (CS 訪問介護)</p> <p>児童通所 WG : 日野 (ぽこぽこ)、小村・木村 (CS 放デイ大社)、伊藤 (ひまわり)</p>
現 状 (問題点・課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援専門員との連携について、前年度のサービス調整会議での意見交換会からも、必要性を感じる事が再確認できたため、今後の協働研修等に向けての準備が必要。</li> <li>・地域生活支援拠点整備について、緊急時の受入れや体験の場を提供するサービス事業所の現状把握について、相談支援専門員との共有が不十分と思われる。</li> </ul>
テーマ (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス管理責任者等のつながり作りは今後も研修等を通して実施していくのと並行して、相談支援専門員との連携についても、合同研修等の形で検討実施していく。</li> <li>・地域生活支援拠点整備について各専門部会と連携をし、今後必要に応じてアンケート等を行っていく。</li> </ul>
具体的方法 (評価を含む)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部会の開催 年 4 回 (5 月、9 月、11 月、3 月) 予定 部会で実施する研修会等の企画・準備・各 WG の活動について情報交換</li> <li>2. 研修会等の企画実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>①ワールドカフェ : 7 月 10 日 サビ管等のスキルアップを狙いとした、人材育成や面接技術についてをテーマとした内容で実施する</li> <li>②権利擁護研修会 : 11 月 障がい者虐待防止や権利擁護に関する意識の向上を図るため、身近な事例を取り上げたグループワークによる研修を実施する</li> <li>③相談支援専門員との協働研修 協働研修を通して、話し合える場や学べる場を共有し、連携の重要性を再確認していく。</li> <li>④地域生活支援拠点整備に関すること 緊急時の受入れと対応、体験の機会と場等の課題に対して、他専門部会からの要請に応じて参加する。また各 WG においても随時課題に対しての現状と課題についての取りまとめ等を行っていく</li> </ol> </li> </ol>

## 年 間 計 画

月	内 容	備 考
4月		
5月	・16日 第1回専門部会 年間計画の決定	
6月		
7月	・3日 ワールドカフェ最終確認 ・10日 ワールドカフェ	
8月		
9月	・4日 第2回専門部会 ワールドカフェ振返り 権利擁護研修企画検討	
10月		
11月	・権利擁護研修会 ・第3回専門部会 権利擁護研修会振返り	
12月		
1月		
2月		
3月	・24日 相談支援専門員との意見交換会 ・第4回専門部会 今年度の反省 次年度の計画の立案	

## 令和元年度 暮らし専門部会 事業計画書

メンバー	<p>会長 : 柳楽 (ハートピア出雲)</p> <p>副会長 : 森谷 (そうゆう)</p> <p>メンバー: 福田 (プレーゲ)、石崎 (やまびこ)、永島 (ほっと)、 佐藤 (斐川あしたの丘)、山崎 (サン出雲)、 大国・三原 (福祉推進課)</p>
現 状 (問題点・課題)	<p>前年度、中山間地域の地域課題について調査や研修会を実施した。調査によって、本人が行きたい場所であれば、市中心部まで公共交通機関を利用してでも行かれるということがわかった。障がい福祉サービスにつながりにくいような人でも、興味がある場所が見つければ、その場所がその人にとっての居場所になるのではないか。実際に地域にどのような資源があるのかを調査しマップを作成することで活用できないか。</p> <p>また、令和2年度末に整備を目指す地域生活支援拠点において、居場所の確保という意味で地域の体制(資源マップづくり)という課題に取り組むこととなった。</p>
テーマ (ねらい)	<p>・資源調査とマップの作成</p> <p>情報を収集し地域の資源・居場所を調査する。</p> <p>相談支援専門員、サービス提供事業者、当事者、地域の障がい者相談員から実際に利用しているインフォーマルなサービス等の調査をする。</p> <p>こんな居場所があればいいという意見をまとめ、既存の資源に対し障がい者を受け入れてもらうための理解の促進についても取り組む。</p>
具体的方法 (評価を含む)	<p>・資源調査とマップ作り</p> <p>今年度はモデル地域を選定し、手法やノウハウを模索</p> <p>対象地区：①斐川町直江地区 ②佐田地区 ③今市地区</p> <p>方法：マップ作りに有益と思われる情報を収集</p> <p>地域の障がい者団体、サービス提供事業所とその利用者、障がい者相談員、市関係課などに随時情報提供依頼を行いアンケート調査等実施</p> <p>次年度は前年度の取り組みを活かし、市全域にかけて拡大</p>

## 年 間 計 画

月	内 容	備 考
4 月		
5 月	第 1 回くらし専門部会（5 月 23 日） ・年間計画	
6 月	聞き取り調査実施（斐川町直江地区、佐田町）	
7 月	第 2 回くらし専門部会（7 月 11 日） ・情報を収集	
8 月	第 3 回くらし専門部会（8 月 8 日） ・情報整理と落とし込み	
9 月	聞き取り調査実施（今市地区）	
10 月	第 4 回くらし専門部会（10 月 10 日） ・情報を収集	
11 月	第 5 回くらし専門部会（11 月 14 日） ・情報整理と落とし込み	
12 月	第 6 回くらし専門部会（12 月 12 日） ・地図に書き込み作業	
1 月	第 7 回くらし専門部会（1 月 9 日） ・全体のまとめ	
2 月	予備 反省会、次年度に向けて	
3 月		